



ふるさと
自慢

神戸からのメッセージ がんばろう、日本。

今回の東日本大震災により
被災された皆様に、
心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復興を
お祈りしております。

人と人とのふれあいをつなぐ、
家電と生活の情報マガジン

いどばた会議

2011年夏号

【コンテンツ】

- 【ふるさと自慢】 ①
「神戸からのメッセージ」
——がんばろう、日本。」
- 【家庭の経済学】 ⑦
「第7回 夏を乗り切る省エネ家電」
- 【続・燃る!!ヒット家電】 ⑩
「圧力IH炊飯ジャー 極め炊き NP-SA10 象印」
「ボイスレシーバー みみ楽EH-A500-S ピクター」
- 【クロスワードパズル】 ⑬
- 【家電なんでも相談室／アンケート募集】 ⑭



震源

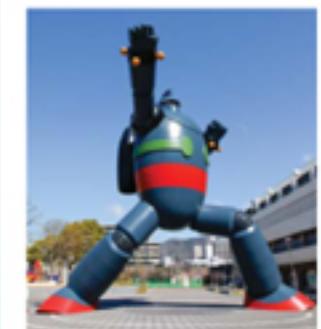
今回のいどばた会議は、そんな神戸の魅力とともに神戸からのメッセージをお届けします。復興は長い道のりでしうけれど、がんばりましょう、日本。

しかし神戸はその後、予想を上回るスピードで復興を遂げ、今でもたくさんの人を惹きつける魅力ある街として全国に知られています。どんなに甚大な被害からでも立ち直れることを、神戸の姿が教えてくれています。

2011年3月11日、14時46分。三陸沖を震源として発生した巨大地震に、日本が大きく揺れた日。激しい揺れに大地はひび割れ、想定を大きく超える大津波が各地で人の命も含みもたやすく押し流していきました。マグニチュードは日本観測史上最大の9.0次々と報道される被害の悲惨さに、日本中が息を呑み、静まり返り、自然の猛威を思い知らされたこの日。震災を境に、日本が変わったと感じた人も多いでしょう。

地震と津波だけでも目を覆うような被害であるのに、さらに福島第一原発の事故で複合的な被害も拡大する一方。復興への道のりは長いことが予想されます。

ところで、近年の日本はもうひとつ忘れられない震災を経験しています。1995年1月17日の阪神淡路大震災です。震源地は淡路島北部、マグニチュードは7.2。冬の未明に都市を襲つた直下型地震により、神戸は大きなダメージを受けました。落下した高速道路の橋桁、建物が焼き尽くされた一面の焼け野原は、当時も大きく報道され、記憶に残っている方も多いはず。



西郷平蔵
神戸出身の漫画家・横山光輝の代表作「超人28号」が、ロードムーラメントとなつて新開田の駅近くに登場。震災からの復興のシンボルとして作られ、新たな観光スポットとして長田の街に人を呼んでいます。

KOBE PROject